

海外の日本庭園を学び・考える

第 25 回佐藤国際交流賞受賞者バリー マクローリン氏講演会・シンポジウム

実施要領

1. 主 催 一般社団法人 日本公園緑地協会
福島民報社
2. 後 援 国土交通省、復興庁、福島県、公益社団法人日本造園学会
3. 協 賛（五十音順）
（一財）沖縄美ら島財団 （一社）公園管理運営士会 （一財）公園財団
（公財）国際花と緑の博覧会記念協会 （公財）都市緑化機構 （一社）日本植木協会
（一社）日本運動施設建設業協会 （公社）日本家庭園芸普及協会 （一社）日本公園施設業協会
（一社）日本造園組合連合会 （一社）日本造園建設業協会 （一財）日本造園修景協会
（一財）日本緑化センター （一社）ランドスケープコンサルタンツ協会
World Urban Parks ジャパン

4. 目 的

本講演会・シンポジウムは、一般社団法人日本公園緑地協会、福島民報社が主催し、国土交通省、復興庁、福島県、公益社団法人日本造園学会の後援をいただき、また、緑・公園関係団体の協賛を得て、春の都市緑化推進運動の一環として開催するものです。

講演をお願いしているバリー マクローリン氏は、東日本大震災における英国国民への感謝の気持ちを伝えたいという福島県からの要望を踏まえ、同氏が園長を勤める王立ケンジントン・チェルシー区のホーランドパークに整備された日本庭園「福島庭園」の整備・開園に尽力され、その後の開園式等を通じて被災地福島県の子供たちとの交流や日英の文化交流・相互理解の促進に多大な貢献をなされました。その功績に対し同氏は一般社団法人日本公園緑地協会が主催する「第 25 回佐藤国際交流賞」を受賞されました。また、福島民報社は創刊 120 周年記念プロジェクトとして「福島庭園」の整備や交流活動を支援しております。

このようなことから、造園界として東日本大震災の被災地を支援し、佐藤国際交流賞の 25 周年を記念して、福島県の地を会場として、同氏から「日本庭園を通じた文化交流—ロンドンに開園した福島庭園」（仮題）と題した講演とあわせ、日本庭園を国際交流の財にする「海外の日本庭園を学び・考える」と題したシンポジウムを開催するものです。

本講演会・シンポジウムは、日本庭園を介した海外との都市間交流における意義を考え、我が国の造園人をはじめ、広く一般の方々に海外の日本庭園について理解を深めていただくとともに、日本庭園の国際的価値を知り、これを向上させるきっかけとなることを期待しております。加えて、明日の造園界を担い福島県内の造園産業の復興の推進役となる福島県内の農業高校の生徒の皆様を授業の一環として招待し、日本庭園を学ぶことで国内にとどまらず国際的に活躍できる機会が広がっていくことを伝えていきたいと考えております。

5. 開催日時及び開催場所等

開催日時 平成29年6月1日（木）

13:30～16:30

開催場所 わいわいホール（福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館 1階）

福島市早稲町1番1号 （福島駅東口から徒歩3分）



6. 参加人数 約300名 予定

7. 参加費 無料

8. プログラム構成 予定

1) 開会 : 一般社団法人日本公園緑地協会

2) 挨拶 : 来賓挨拶

3) 講演 「日本庭園を通じた文化交流ーロンドンに開園した福島庭園ー」
バリー マクローリン氏 ロンドン市王立ケンジントン・チェルシー区の
元公園担当部長兼ホーランドパーク園長
第25回佐藤国際交流賞受賞者

4) シンポジウム 「日本庭園を国際交流の財にする」

コーディネーター : 蓑茂壽太郎 東京農業大学名誉教授

パネリスト : 安斎康史 福島民報社会津若松支社長

: 北山安夫 北山造園代表

: 鈴木 誠 東京農業大学造園科学科教授

国際日本庭園研究センター長

: 望月一彦 国土交通省都市局公園緑地・景観課

国際緑地環境対策官

コメンテーター 第25回佐藤国際交流賞受賞者

金清典広 高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役

花城良廣 一般財団法人沖縄美ら島財団理事長

※ パネリスト等が変更となる場合があります。

5) 閉会 : 福島民報社

※ 本講演会・シンポジウムは造園CPD認定プログラムです。（2.5単位）

9. タイムテーブル

受付開始	12:30	
開会	13:30～13:35	一般社団法人日本公園緑地協会
挨拶	13:35～13:40	来賓挨拶
講演	13:40～14:40	60分 (通訳も含め)
10分 休憩		
シンポジウム	14:50～16:25	95分
各パネリストから発表 (各10分)	①安齋氏	なぜロンドンで「福島庭園」だったのか
	②北山氏	海外で日本庭園をつくる－その苦勞と喜び (イギリス 福島庭園)
	③鈴木氏	海外の日本庭園－その全体像を伝える－
	④望月氏	今、海外の日本庭園への取組 (日本庭園の保全再生計画)
コメンテーター	金清氏	
	花城氏	
閉会	16:25～16:30	福島民報社

10. 申し込み方法

参加ご希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を明記の上、
メールまたはFAXでお申し込みください。

11. 申し込み先・問合せ先

福島民報社広告局 「海外の日本庭園を学び・考える」係
所在地 〒960-8602 福島市太田町13-17
電話 024-531-4161 FAX 024-533-4343 E-mail kikaku@minpo.ne.jp

12. その他

お申し込み頂いた個人情報は、当講演会・シンポジウムの業務に使用させていただき、他の目的としては使用いたしません。

講演者の経歴

バリー マクローリン (Barrie Maclaurin)

元 ロンドン市の王立ケンジントン・チェルシー区の公園担当部長



略歴

- 1954 年 英国生まれ
- 1978 年 南アフリカ・プレトリア大学卒業（園芸学）
- 1980 年 英国・公園緑地管理大学卒業（造園設計及び公共緑地マネジメント）
- 1980 年～1986 年 ジンバブエ ハラレ市園芸員
- 1990 年～2000 年 ロンドン市ホーンスロー区公園担当部長
- 2000 年～2004 年 ロンドン市イズリントン区緑地担当部長
- 2004 年～2014 年 ロンドン市王立ケンジントン・チェルシー区
公園担当部長兼ホーランドパーク園長

シンポジウム コーディネーター

蓑茂壽太郎 （みのもと したろう）

東京農業大学名誉教授
一般財団法人 公園財団理事長



略歴

- 1950 年 熊本県生まれ
- 1973 年 東京農業大学農学部造園学科卒業
- 1995 年 東京農業大学教授
- 2004 年 東京農業大学副学長
- 2006 年～2012 年 公立大学法人熊本県立大学理事長、熊本県立大学教授
- 2012 年 4 月 一般財団法人 公園財団理事長
- 2016 年 4 月 東京農業大学名誉教授

学会活動歴

- 2007年～2009年 日本造園学会会長
- 2009年～2012年 日本都市計画学会副会長
- 2012年～2014年 農村計画学会副会長

パネリスト

北山安夫 (きたやま やすお)

庭師 北山造園代表・高台寺専属庭師

略歴

1949年京都府生まれ

1971年京都産業大学卒業後

小宮山庭園創作所入所、故・小宮山博康氏に師事

1975年独立後、北山造園設立

NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演(第41回 2007年2月15日放送)

代表作

京都 鷲峰山 高台寺 史跡名勝庭園 修復 方丈波心庭 書院中庭を作庭

高台寺 塔頭 圓徳院(園徳院)名勝庭園 修復

愛知万博(「愛・地球博」)長久手会場の日本庭園「石組」担当

京都平安遷都1200年記念事業の梅小路公園「十彩回廊粋」作庭

海外において

1998年 フィレンツェ市・京都市姉妹都市提携35周年記念

2006年 同フィレンツェ日本庭園改修

2003年～2006年 南アフリカ庭園作庭

2010年～2011年 サウジアラビア日本庭園作庭

福島庭園(広さ約1000平方メートル)の設計、施工 2012年7月開園



鈴木 誠 (すずき まこと) 博士(農学)

東京農業大学 造園科学科教授

東京農業大学 国際日本庭園研究センター長

略歴

1954年 東京都生まれ

1979年 東京農業大学農学部造園学科卒業

2001年 東京農業大学 造園科学科教授

研究テーマ：海外の日本庭園、造園デザイン史、庭園文化

主な受賞

1989年(社)日本造園学会研究奨励賞受賞 「庭園デザインの研究」

1998年(社)日本造園学会賞(論文賞) 「欧米人の日本庭園観」

2015年 第23回佐藤国際交流賞を受賞

主な著書等

『Japanese Gardens Outside of Japan / 「海外の日本庭園」調査報告書』

(日本造園学会、日版2006、英版2007)

『日本の庭・世界の庭』(農文協、2005) 他多数



Webサイト「Japanese Gardens Outside Japan / 海外の日本庭園」を2012年より運営

(www.nodaigarden.jp)

安齋 康史 （あんざい やすし）

福島民報社会津若松支社長



略歴

1964 年 福島市生まれ 同志社大学文学部文化史学科卒

1987 年 4 月 福島民報社入社

田村支局長、社会部キャップ、県政キャップ、報道デスクを経て

2010 年 4 月 郡山本社報道部長

2014 年 4 月 編集局報道部長

2015 年 ロンドンの福島庭園開園 3 周年式典に高橋雅行社長とともに出席

2017 年 4 月 会津若松支社長